

チャレンジ！授業 ～実践後の感想(抜粋)～

「終末につぶやかせたい言葉」の中の一番のキーワードが出てこなかったため、めあての設定をもっと具体化すべきだと思った。

子どもたちの主体的な活動を大切にしたいので、時間配分と、教師の手だてが大切だと思いました。

【今後の取組】

- ①主体的な活動の確保
- ②深い学びにするためのコーディネート

1 時間の中で教える内容が多かったので、内容の精選が必要だったと学んだ。

1 年生の教材を（手立てとして）もってきたことで、どの子もすぐにわかり、自信を持って取り組んでいた。1 年生の教材の並べ替えで気をつけたことをもとに、つぎのめあてを子どもとつくりすることができた。

「ゆさぶる発問」をする前に児童自身が気づき、課題解決に進んでいった。

「思考を深めるためのゆさぶり発問や活動」までいきませんでした…もっとテンポよく進めます。あと、つめこみすぎない。導入はまあまあといったところでしょうか。

児童のつぶやきから、めあてをつくっていけるようになりたいと考えています。そのために必要な手立てを、私自身学んでいきたいです。

今回学んだことを実生活に生かせるようになるためには、今後も日常的な指導の繰り返しが必要だと考える。教室に学習の足跡を残し、常に声かけができるような環境づくりにも努めていきたい。

「終末に児童につぶやかせたい言葉」を意識しながら、「質の高いめあて」や「ゆさぶりの発問・活動」、そして「振り返り」を入れていくには…①時間の時間配分 ②内容・発問の精選 ③教師のコーディネートなどが大切になってくることが、先生方の「声」から感じられました。

1 週間に何回かは意識して授業を組み立て、実践を積み重ねていきましょう!!